

2011年3月8日

東日本旅客鉄道株式会社

山手線で車内のお客さまに快適なシートを試行します

～快適さを追求したシートの研究開発を進めています～

- JR 東日本では、「グループ経営ビジョン2020」に示した、「お客さま満足の向上を実現する」ため、車内の快適性向上に向けた研究開発を進めてきました。
- このたび通勤電車用シートに関して、シート単体の座り心地のよさだけでなく、周囲のお客さまも快適に利用できることを目指したシートを開発しました。
- 今後、山手線での試行等により、シートの快適性と共に耐久性やコストを評価・検証し、実用化を目指した開発を進めてまいります。
- 本開発は、慶應義塾大学 山崎信寿（やまざき のぶとし）教授との共同研究により実施しました。

1. 開発の目的

通勤電車用シートについては、これまでできるだけ多くのお客さまが快適に座れるように座面幅の拡大、着席区分の明確化などの改善を行ってきました。しかしながら膝の開き、もたれかかり、足の投げ出しにより周囲のお客さまが不快に感じたり、お客さま自身が着座時に周囲に迷惑をかけていないか気にされたりしているケースが多いことがわかりました。そこで、車内のお客さまが互いに快適にご利用いただけるように、シートの座り心地と譲り合いの気持ちを両立させたシートの開発を目指しました。

2. 開発の概要

慶應義塾大学理工学部機械工学科 山崎信寿教授とJR 東日本研究開発センター先端鉄道システム開発センターとの共同研究において、「座り心地と譲り合いの両立」を目指した『座っているお客さまにも周囲のお客さまにも快適なシート』を設計・試作しました。試作品については、これまで座り心地などの総合的な評価を行ない、概ね良好な結果が得られました。

今後、実用化に向けて、2011年6月から山手線の1編成1両で試行を行ない、シートの快適性・耐久性・コスト等の検証を行ないます。

座っているお客さまにも周囲のお客さまにも快適なシート

別紙



試作シート

＜従来シート※＞

＜試作シート＞



背もたれの
突出量を低減

背もたれを凹状にして
上体を保持

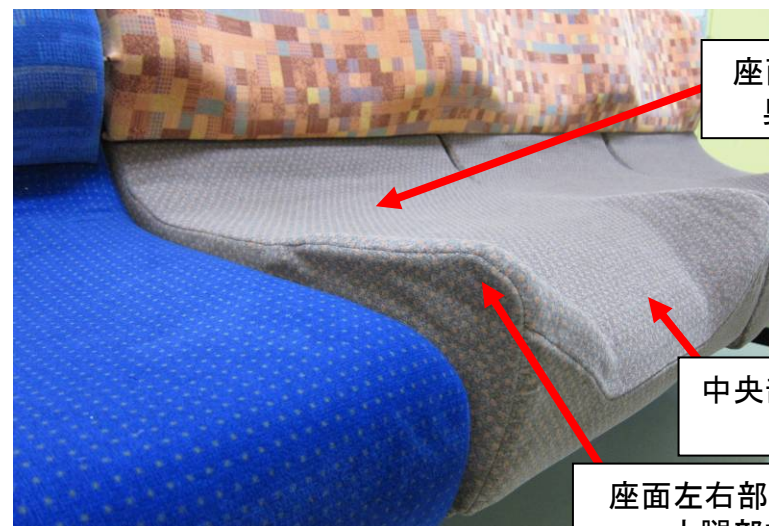
体幹の安定と深座りを促進する背もたれ

＜従来シート※＞

＜試作シート＞



従来シート※との比較



座面最凹点を
奥へ移動

中央部を低くして
前傾

座面左右部を盛り上げ
大腿部を支持

膝開き防止と深座りを促進する座面

※ 京浜東北線E233系車両のシート